



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始。
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る。
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する。
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら、今日もベトナムの
工場メンテナンスの向上に奮闘中。

知らないで損する工場メンテのツボ

塗料の種類

第十二回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。第十二回目となる今回は“塗料の種類(後編)”をテーマにお届けします。(主要塗料4種類に関して前編91号参照)

今回のテーマは“塗料の種類(後編)”です。前回は、工場などの外壁、屋根、床の塗装に使用される塗料は、大きく分けて、アクリル塗料、ウレタン塗料、シリコン塗料、フッ素塗料4種類あることを説明しました。今回はこれらの塗料の適切な業者の見極め方法について説明します。

現在、ベトナム国内で製造されている塗料は、アクリル系塗料とウレタン系塗料のみで、シリコン系塗料とフッ素系塗料は、海外から輸入する必要がありますので、更に割高になります。外壁塗装に使用される塗料でベトナムで最も普及しているのが、アクリル系塗料で、全体の95%以上を占めています。

上記の通り、塗料の種類によって価格と耐用年数が異なりますので、塗装する場所に応じて最も適切な塗料を選択することが重要です。

但し、ここで、注意すべき点は、上記の耐用年数は、正しい使用方法と正しい塗装方法を行った場合であることです。

実は、ローカルの塗装業者などでは、塗装に使用する塗料を水で薄めて水増ししたり、2度塗り、3度塗りが必要とされているにもかかわらず1度しか塗装を行わない等の方法により、塗料の使用量を抑えて価格を下げていることがあります。

この様な業者は、見積を取るのと他の業者に比べて明らかに安い金額を提示してきますが、実際に塗装を行うと、1年程度で塗り替えが必要になったりします。

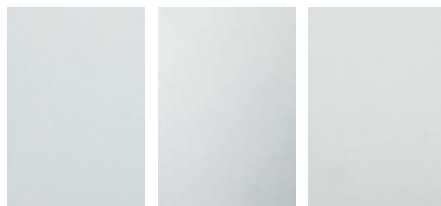
2度塗り、3度塗りが必要な場合でも、1度塗ってしまえば、重ね塗りをしているかどうかは素人の目には判断が付きませんので、気付かないままというケースも少なくありません。

こういった悪質な塗装業者に騙されないためには、塗装に必要な塗料の量を確認し、管理することが重要です。塗装に必要な㎡数が確定すれば、それに必要な塗料の量は確定しますので、正しい量の塗料が使用されているか確認しましょう。

また、実際に塗装を行う際に、どれだけの量の塗料を持ち込んでいるかも確認した方が良いでしょう。その際、複数の塗料缶が開封されている場合は、水増ししている可能性があります。また、持ち込んだ塗料が全て現場で使用され、持ち帰りが無いかも確認が必要です。

一番塗装では、日本人が現場を管理していますので、上記のような問題が発生することはなく、ご依頼主様の塗装管理の手間も省くことができます。

塗装の見積りを取得する際には、金額だけではなく、上記の点も踏まえて検討して頂くことが重要です。



水無し

水20%

水50%

●一番塗装の特徴

一番塗装は、日本人エンジニアが長年の経験と技術により塗装に関するあらゆる問題を解決します。ベトナムローカル企業では、安かろう悪かろうのその場しのぎの塗装が横行していますが、一番塗装は違います。

各現場を細かく診断し、その現場に最適な塗料と塗装方法をご提案します。また、塗装前には、下地処理を徹底して行う為、他社に比べて塗装の劣化が起きにくく、結果的に長く使用できます。

塗装方法にも、独自の技術を導入しており、ライン部分の塗装だけが先に消えてしまったり、塗装後すぐに問題が発生することもございます。万が一問題が発生した場合も、3年間は無料保証で迅速に補修対応しております。

また、試験塗装にも対応していますので、塗装でお困りの際は、直ぐにご連絡ください。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回も、楽しみに!!

工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底